

〔曲名〕 Danza dei Nani

矮人の踊り

〔曲種〕

〔作曲者〕 Raffaele Calace

ラファエーレ カラーチェ

〔編曲〕 中野二郎

Jiro Nakano

正確に訳せば「こびとたちの踊り」となるうか。

カラーチェが作曲意欲最も旺盛であった若い頃の作品で覇気に満ち溢れている。

原曲はマンドリンとピアノの為に作られ、決してピアノ伴奏とは云わなかった。

小人は童話や物語などに登場する躰の小さな人間で、一寸法師、侏儒とも云われる。

サーカス等に道化役として登場することもあるが、いずれも諧謔味があり、こせこせとした動きが特徴となっている。

二長調で早く動き廻るメロディーの中に口短調の稍哀愁を帯びた抒情を歌うあたりはサーカスに現れる道化師役の小人を思わせる。

彼はナポリの音楽学校を優秀な成績で卒業後兄ニコラとともに楽器製作の家業を受けつぎ、プレクトラム音楽界に大きな足跡を残している。

天性の豊かな素質と芸術家として50年のエネルギーをこの仕事に注いだマンドリン音楽史上に忘れることのできない人物である。

マンドリン古典合奏曲集30集より